

第19回 CRC と臨床試験のあり方を考える会議 2019 in YOKOHAMA 一般演題投稿ガイドライン

一般演題抄録は、本ガイドラインに従って作成してください。ガイドラインに従っていないと思われる抄録は、不採用とさせていただきます。

1. 発表内容

- 1.1 臨床試験の向上と発展に寄与する内容を含むもの。
- 1.2 以下の項目についても可能な限り含めてください。
 - 1) 研究・調査の方法、知見、考え方等において何らかの新規性
 - 2) 臨床研究に関連する実務で発生している種々の問題の解決につながるもの

2. 発表形式

- 2-1. 発表形式はポスター（フリーディスカッション形式）とします。

3. 演題名

- 3-1. 研究テーマや内容がわかるものにしてください。
- 3-2. 演題名の文字数は 60 文字以内です。

4. 発表者・共同発表者について

- 4-1. 原則、投稿者と発表者は同一人としてください。
- 4-2. 発表者、共同発表者 1、共同発表者 2 の順に記載してください。
- 4-3. 演題要旨等に記載する共同研究者は、10 名以内、所属機関は最大 10 施設までとしてください。

5. 抄録本文の記載項目

- 5-1. 項目立ては、原則として【目的】【方法】【結果】【考察】としてください。ただし、発表の内容が症例（事例）報告の場合には、【方法】を【症例（事例）の概要】としても結構です。また【結果】と【考察】は併せて【結果及び考察】としても結構です。項目毎に改行してください。【 】がない、改行がされていない等の文章の体裁につきましては、運営事務局の判断で修正させていただく場合があることをご了承ください。
- 5-2. 略語を使う場合には、まず正式名称とそれに続くカッコ内に略語を書き、以降、次から略語で記載してください。
尚、以下の略語は汎用性が高いため、正式名称の記載はなくとも結構です。

GCP、ICH、CRC、CRO、SMO、SDV、ARO、EDC、SOP、CRA、PMDA、
FDA、EMA、AD、SAE、ALCOA、IWRS/IVRS、RBM

5-3. 抄録本文の文字数は 800 字以上 1000 字以内です。図表の挿入は不可とします。

5-4. 各項目は、下記の点に注意して作成してください。

5-4-1. 【目的】

何を明らかにするための研究・調査であるかを明確に記載してください。

併せて、必要があれば、今回の研究・調査内容が既知の事実や他の研究とどのような位置関係にあるのか等の背景を簡潔に記載してください。

5-4-2. 【方法】

研究・調査の目的を達するために用いた方法、対象、サンプル数、研究時期や期間等を簡潔に記載してください。

5-4-3. 【結果】

今回の研究・調査等から得られた結果を記載してください。

結果を%表示する場合には、その集計に用いた分子並びに分母も記載してください。

5-4-4. 【考察】

今回の研究・調査等で得られた結果から何が明らかになったのか、それらの結果はどのように解釈できるのか、また、それらからどのような結論が導き出されるのかを記載してください。

結果から解釈できない事項や希望、感想等、抽象的表現を含んだ記載はしないでください。

5-5. 【目的】【方法】【結果】【考察】の内容が分かりやすく、かつ矛盾なく一つのストーリーを構成するように留意してください。

なお、発表予告のような書き方はしないでください。

6. 倫理的配慮

6-1. 演題について倫理審査が必要な場合、必ずその承認を受け、結果について記載してください。

7. 臨床研究等研究責任者・治験依頼者等からの合意の取得

7-1. 臨床研究・治験の内容に触れる場合、投稿者本人あるいは共同研究者は、投稿までに、当該臨床研究・治験の実施計画書等の規定に従い、研究責任者・治験依頼者等からの合意を得てください。

治験依頼者名、試験薬名、疾患の特異性がなく、特定することができないものについては、依頼者の了承がなくとも許容します。また、SMO が特定の医療機関の支援上の内容をテーマとしている場合は、SMO と医療機関所属の方が共同発表者で

あることをもって合意とみなします。

8. 引用

- 8-1. 演題の内容に他人の研究成果や著作等の記述を使用する場合、原著者名及び発表年を明記し、その部分が引用であることを明らかにしてください。
また、企業の商品等を特定する名称は使用しないものとします。

9. 利益相反

- 9-1. 投稿する演題に関連する、企業や営利を目的とした組織又は団体との経済的な関係について確認の上、過去1年間の利益相反（Conflict of interest、COI）状態の有無を抄録登録時に申告し、更に発表時に開示してください。
- 9-2. 開示対象及び開示すべき者の範囲並びに方法は次のとおりとします。
- 1) 開示対象と基準：年間の合計収入が、同一組織から50万円を超える場合等が該当
 - (1) 知的財産権の取得による収入（特許取得等）
 - (2) 株式又は新株予約権の取得：配当、売却益の総和（未公開株を含む）
 - (3) 金銭収入等（講演料、執筆料、実施料収入、兼業報酬、寄付金等を含む）
 - (4) 経営関与による経済的利益
 - (5) 企業や営利を目的とした団体が提供する研究費（委託受託研究、共同研究）
 - (6) 役員、顧問就任等
 - 2) 開示すべき者の範囲：筆頭発表者、その配偶者及び生計を一にする一親等の者
 - 3) 開示方法：会議ホームページに提示する方法で実施する。

10. 禁止事項等

- 10-1. 以下の項目に該当するものの投稿は禁止します。
- 1) 他者を誹謗・中傷する内容、あるいは著しく企業PRや営利性の色彩が強いと認められるもの
 - 2) 結果が未記載、あるいは会場にて結果の収集を行い議論するもの
 - 3) 論理の展開のみのも、抽象的な表現のみのも
- 10-2. 発表当日、演題要旨と異なる内容の発表は行わないでください。

<問い合わせ先>

第19回CRCと臨床試験のあり方を考える会議2019 in YOKOHAMA

運営事務局（演題登録担当係）

株式会社JTBコミュニケーションデザイン ミーティング&コンベンション事業部内

〒541-0056 大阪市中央区久太郎町2-1-25 JTBビル7階

TEL：06-4964-8869

E-mail：crc2019@jtbcom.co.jp